

猫の正しい飼い方の

マナーを守りましょう

「庭に猫のふんをされて臭い」「夜、猫の鳴き声がうるさい」など、猫に関する苦情が寄せられています。

猫を飼うときは、正しい飼い方のマナーを守って他人に迷惑をかけないようにしましょう。

猫を正しく飼う

■室内飼養

猫は室内で飼いましょう。屋外で飼うと、交通事故や感染症、迷子などの危険性があります。

■所有者明示

首輪や迷子札を付けて、飼い主がわかるようにしましょう。外に出て迷子になった場合でも見つかる確率が高まります。

■不妊・去勢手術

自分で管理できる数を自覚して、むやみに増やさないようにしましょう。

■終生飼養

猫が年をとったり病気になつたりしても、最後まで面倒をみる覚悟が必要です。

■虐待・遺棄の防止

猫を捨てたり、みだりに危



害を加えたりすることは、犯罪です。

飼い主のいない猫には

飼い主のいない猫には、無責任に餌を与えないようにしましょう。餌を与え始めると、その場所に住み着いて繁殖し、世話するのが困難になるほど増えてしまうこともあります。また、近くの家の庭などに糞尿をしたり、放置された餌にカラスなどが集まることで不衛生になったりするなど、近所にも大変な迷惑をかけることとなります。責任をもって餌えないのであれば、無責任な餌やりは絶対に止めましょう。

問い合わせは、市民生活課 男女共同参画推進・生活係 (☎内線317) へ。

特定外来生物

「クビアカツヤカミキリ」にご注意ください

環境省が特定外来生物に指定している「クビアカツヤカミキリ」が、館林市で平成27年7月に県内で初めて確認され、それ以降も被害が確認されています。6月には太田市で確認され、今後市内に拡大するおそれがあります。

クビアカツヤカミキリの幼虫は、サクラ、ウメ、モモなどの樹木の内部に侵食するため、倒木などの被害があります。成虫を発見した場合は、被害拡大を防ぐため、捕殺するようお願いいたします。また、発見した場合や発生が疑われる場合は、可能な範囲で写真を撮影し、電話で公園緑地課(☎内線283)へ

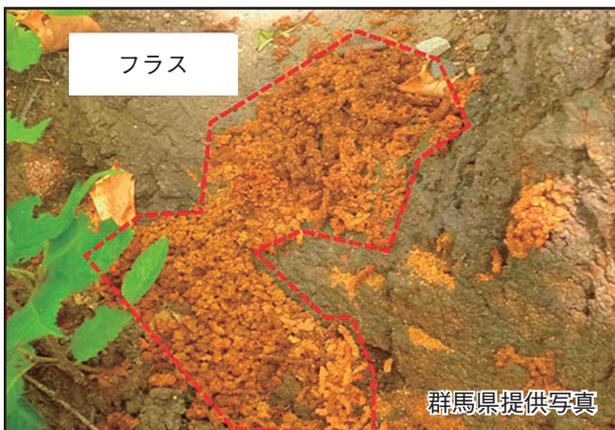
ご連絡ください。

■クビアカツヤカミキリの特徴

- ・成虫は22~38ミリメートル程度
- ・体全体が光沢のある黒色、胸部(首部)が赤色
- ・成虫は6月中旬から8月上旬に現れる
- ・幼虫が侵食した樹木からは大量のかりんとう状のフラス(木くずや排せつ物から作られる)を排出する

クビアカツヤカミキリの特徴などは、市ホームページにも掲載しています。

問い合わせは、公園緑地課緑化推進係(☎内線283)へ。



フラス

群馬県提供写真

幼虫の侵食により排出されたフラス



群馬県提供写真

クビアカツヤカミキリの成虫